

自力KAIZENが最高

大きな会社

- ・改善の専門部隊がいる

小さな会社と個人

- ・自力で進める
- ・小さな会社と個人も進め方が異なる

KAIZENのトリセツ



自力KAIZENが最高

◆自力でKAIZENや5 Sを進める

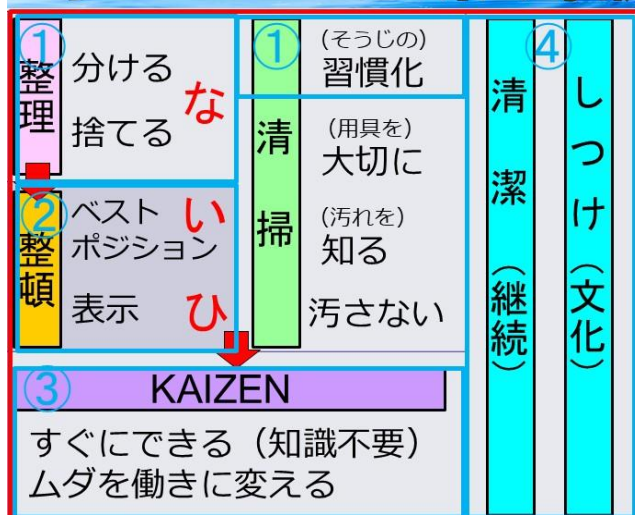
- ・小さな会社＝専門部隊やコンサルタントがない会社では進め方の工夫が重要
- ・個人の場合は必要な部分だけを限定する
- ・時間がかかっても、自力ですすめないと消滅してしまう

◆自力推進のキーワード

- ・小さな会社は「5 S∞KAIZEN」
- ・個人は「KAIZEN + 5 S」
- ・順番も進め方も違う
- ・今回は小さな会社が自力で行う「5 S∞KAIZEN」のトリセツを解説



5 S∞KAIZENの楽々手順



かいぜん
(IE、作業改善)

改善
(TPS、応用改善)

管理技術
(QC、安全衛生など)



「なくす」と清掃習慣化

◆必ず5 S 「ないひ」からスタート

- ・「な」は「なくす」片付けること
- ・整理の「分ける」と「捨てる」の2工程
- ・まずは、現場からなくす
- ・後日、使わないモノを捨てれば良い

◆同時に清掃の「習慣化」もスタート

- ・ゴミだらけでは、5 Sが上手く進まない
- ・5 Sの活動は、時間を決めて、短時間で行うのが、継続の秘訣
- ・清掃しながら不要物を倉庫へ持っていく
- ・「超手抜き5 S改善のすすめ」(72)に解説している



「ないひ」の「い」「ひ」

- ◆「い」は「位置」ベストポジション
 - ・最高の置き方＝ベストポジションとはできる限り近くの作業しやすい位置
 - ・置き場を変えると、やりにくなる
「慣れ＝熟練」が邪魔をするから
 - ・作業に慣れるには、1～2週間は必要
仮止めテープにマジックで手書きで良い
- ◆「ひ」は「表示」
 - ・「表示」はラベル等を使った見える化
案に貼り付けられるし、変更もしやすい
 - ・「超手抜き 5 S 改善のすすめ」(72)に解説している



KAIZENをガンガン

- ◆KAIZEN＝手抜き改善の「5ない」
 - ・「手をのばさない」手をのばす動作
 - ・「歩かない」歩行そのもの
 - ・「書かない」手書き
 - ・「持ちかえない」一方から一方の手に
 - ・「落とさない」落すという異常
- ◆「手をのばさない」「歩かない」が重要
 - ・「手抜き」＝「やらなくてもいいことをしない」ようにする
 - ・疲れる作業などに、潜んでいる
 - ・手抜き改善の「5ない」(73)に解説している



清潔としついで活動継続

- ◆5 S ∞ KAIZENは継続がもっとも重要
 - ・5 S とKAIZENを継続するしかけが「清潔」と「しつけ」
 - ・「清潔」と「しつけ」は、現場以外のスタッフが同時にサポートするのが理想
 - ・ないひとKAIZENは現場メンバーが推進
- ◆「清潔」とは、ないひとKAIZENを維持
 - ・「しつけ」とは「みんなで決めたことをみんなで守る」
 - ・本来のしつけの「ルールを守る」では、推進者は大きな「やらされ感」になってしまい、活動が停滞してしまう



清潔としついで活動継続

- ◆会社の「文化」になって欲しい
 - ・継続するためのモチベーションとなるのは「楽しい」「嬉しい」と思えること
 - ・アイデアを考える、自分でやって、上手くいく一連の流れを経験することが重要
- ◆「やらされ感」はもっとも良くない
 - ・「自分で考え、自分でやってみて、工夫しながら、うまくいって、褒められる」という成功体験を経験することが重要
 - ・5 S を継続する 2 S (08)
 - ・5 S を継続するしかけ (49)
 - ・5 S を継続できる文化 (50) 参照

